

住吉区地域福祉ビジョン（素案） Ver.3.0 改訂版

まちじゅうに多様な出会いとゆるやかなつながりを
生み出して、みんながこのまちの主人公になろう



令和6（2024）年〇月 住吉区役所

はじめに

住吉区における地域福祉ビジョン改訂に向けて、住吉区地域福祉専門会議において議論を重ね、いくつかのキーワードが出されてきました。

- 住吉区の強みや特性を前面に出して、独創的な住吉区ならではのビジョンにすること。
- 誰もが気軽に集える居場所的なもの？が地域の中に必要。
- 従来の福祉から縁のない、大多数の人達を巻き込む仕掛けが必要。
- まちの将来を担うこどもの意見も大切にしたい。
- 地域の意思決定支援。地域が自分たちで決めていくことをサポートする。
- 福祉教育を地域での実践の中から学ぶ形に。
- 専門職は地域の意思決定をサポートし、専門的支援が必要な個別事案に対応する。

こうした思いを大切に、可能なかぎり具体的にビジョンという形でお示ししたいと願っています。

基本理念

基本理念

まちじゅうに多様な出会いとゆるやかなつながりを
生み出して、みんながこのまちの主人公になろう

地域福祉とは、このまちで働き暮らす全ての人々の幸せをめざすあらゆるとりくみです。では、全ての人々が幸せになるためにはどうすればよいのでしょうか。もっと言うと、幸せとはなんなのでしょうか。幸せを研究した人によれば、幸せの4つの因子の一つは「ひととのつながりと感謝」だそうです。確かに、自分をありのまま受け入れてくれる人たちと居るだけで、幸せと感謝の気持ちがあふれてきます。つまり、全てのひとが誰かとつながることができれば、誰もが幸せになれるそうです。ではどうすれば、そんなことができるのでしょうか。

ひとつのイメージは、誰かが自分の好きなことや得意なことで小さなグループを作り、そのメンバーがまた新たなグループを作っていく、そうした小さなグループがまちのそこかしこに生まれ、広がっていく。そのグループのメンバー同士がコミュニケーションを重ね理解を深める中で、お互いの悩みや困りごとに共感し、できることを手助けしていく。そして、大きな取り組みが必要になれば、小さなグループがゆるやかにつながって、より大きなグループができる、というものです。

そんな無限運動が続いていけば、まちのいたるところに常にゆるやかなつながりがありつづけることになります。そのグループのメンバーは年齢・性別・特性などが幅広いほどグループ全体の環境への適応力が高くなります。つまり「ちがいはちから」なのです。そして、ゆるやかなつながりの中の相互理解や自然な助け合いの積み重ねが、ちがいを超えてお互いを大切に思うこと、つまり「生きづらさからの解放」につながると考えます。

そうしたつながりが生まれるためには、人々の間にお互いを思いやり気にかけてあげようという気持ちや、このまちをよりよくしたいと思う気持ちが広がって、ひとりひとりが自由に柔軟な発想で今自分にできそうなことを始めることが大切ではないでしょうか。

住吉区には、そのための土台として、さまざまな見守りの取り組みや居場所の取り組み、そして、まちづくりの取り組みが盛んにおこなわれています。そして、これからもこうしたとりくみが進むことによって、私たちのまち、住吉区がこうなってほしいという願いを基本理念として掲げたいと思います。

基本理念 の 考え方

- ① 人権尊重：ちがいをちからに、みんなまるごとたいせつ
- ② 住民主体・利用者本位：ひとがまんなかのまちづくり
- ③ ソーシャルインクルージョン：ゆるやかにつながる、つつみこむ

基本目標

基本目標 1

ちがいとつながりをちからにして、
ひとがまんなかのまちづくり

- ① 誰でも自分の意見を言える、それが大切にされる住吉区に
- ② 自分の暮らしと地域のしあわせ(福祉)を重ねて考えられる住吉区に
- ③ 地域のしあわせ(福祉)をいろいろな人と話し合える住吉区に
- ④ 助け助けられ、おたがいさまを実感できる住吉区に

基本目標 2

まちぐるみでまるごとのひとを支え合い
気かけあうしくみづくり

- ① 「気になるなあ」が支援につながる住吉区に
- ② それぞれができる小さなことを大きな力に変えられる住吉区に
- ③ 「木も見る、森も見る」まるごとを話し合い、支援が進む住吉区に
- ④ 地域のしあわせ「今」「これから」がみんなに見える住吉区に

基本理念の考え方

① 人権尊重：ちがいをちからに、みんなまるごとたいせつ

人はみな、ちがいをもって生きています。そして、そのちがいこそが新しいものを生み出す力になります。ですから、ちがいをもつだれもがみんなまるごとたいせつなのです。

② 住民主体・利用者本位：ひとがまんなかのまちづくり

暮らしやすいまちとは、ひとがまんなかにいることができるまちです。そして、こうしたまちづくりにもひとがまんなかで参加できることが大切です。

③ ソーシャルインクルージョン：ゆるやかにつながる、つつみこむ

生きづらさをかかえ、孤立しているひとも、その人にとって安心できる居場所やゆるやかなつながりがあれば、気にかけてあい支え合うことができます。そして、今を生きる私たちは、過去から未来へそして自然とのつながりも認識することが大切です。

住吉区地域福祉ビジョン 構成イメージ図

基本理念

まちじゅうに多様な出会いとゆるやかなつながりを生み出して、みんながこのまちの主人公になろう。
誰もがこのまちの主人公に。ちがいとつながりをちからに変えるまちづくり。

人権尊重

ちがいをちからに
みんなまるとたいせつ

ソーシャルインクルージョン

ゆるやかにつながる、つつみこむ

住民主体・利用者本位
多様な主体の参画と協働
ひとがまんなかのまちづくり

基本目標 1

ちがいとつながりをちからにして、
ひとがまんなかのまちづくり

めざす姿

- ① 誰でも自分の意見を言える、それが大切にされる住吉区に
- ② 自分の暮らしと地域のしあわせ(福祉)を重ねて考えられる住吉区に
- ③ 地域のしあわせ(福祉)をいろいろな人と話し合える住吉区に
- ④ 助け助けられ、おたがいさまを実感できる住吉区に

基本目標 2

まちぐるみでまるとのひとを支え合い
気かけあうしくみづくり

めざす姿

- ① 「気になるなあ」が支援につながる住吉区に
- ② それぞれができる小さなことを大きな力に変えられる住吉区に
- ③ 「木も見る、森も見る」まるとを話し合い、支援が進む住吉区に
- ④ 地域のしあわせ「今」「これから」がみんなに見える住吉区に